

Q&A 集 No.9

(Q11) 2025 年 3 月 16 日から公開

Q11 人は病気になれば、薬を飲むし、手術となると麻酔^{ますい}をすることになります。飲む薬や使う麻酔が人体に悪影響がないことを確認するために動物実験は欠かせません。動物たちの命の尊厳^{そんげん}と言うことはわかりませんが、この論理を極端に進めると、病気で苦しむ人たちを救うことができず、やがて人間の生命そのものを危険にさらすことになります。

そこで質問したいのは、人霊界や惑星霊界や恒星霊界の地上の人間たちは、病気や怪我^{けが}と、どのように向き合っているのでしょうか？

A11 まず理解しなければならないのは、地球以外の惑星の人たちは、地上人類ほど病気にならないし、怪我をする人も怪我をさせる人も、とても少ないと言うことです。

その理由は？ これから語ることは、皆様にはショックな内容が含まれるかと思いますが、耐えて聞いてください。

「霊訓」の霊界霊媒である惑星霊が「霊訓」の中で、「地球は修行の道場としては下から 2 番目に低い霊格の集まるところ」と語っており、かつ、ネイム君も五霊も天女さんたちも「そのとおりですわ」と言っていますので、これは事実です。

つまり、人霊界の平均霊格・霊力・治癒力・霊界通信力は、今の人類の数万倍で、惑星霊界は 1000 億倍、恒星霊界は 1000 億の 2 乗倍です。

ですから地球以外の惑星では、病気や怪我の根本的原因は、「過去世に犯した罪の償^{つぐな}いが完了しておらず借金^{しゃっきん}（≡カルマ）が残っていること」と、「真理と摂理の働きの無知であるがゆえに、新たに罪を

犯して借金を増やしていることである」と、理解しておりますので、これらの借金が小さくなるよう善行と懺悔^{ざんげ}の実践に努めているため、病気になる人も怪我をする人も怪我をさせる人も、とても少ないのです。

でも、何人かの人たちは、病気になったり怪我をしたりしますので、地球以外の惑星でも、医療^{いりょう}や薬は存在します。

では、どのようにして、薬（麻酔薬を含む）の安全性を確認しているのか？

まず、人霊界ですが、

植物プランクトンや微生物を使って確認しています。動物を使うと彼らに苦痛を与えますので、摂理の働きによって、動物たちが受ける苦痛が、実験者に^{ただ}直ちに戻ってくるため動物実験は実施されません。

そこで、「自分が何者^{なにもの}であるかがわかる^{じが}自我意識の有無と苦痛の有無」で線引きして、自我意識と苦痛の無い^な物たちを使って安全性を確認しています。動物プランクトン以上の生命体では、彼らの類魂全体で自我意識を有し、かつ、苦痛を感じていますので、実験で使用するのは植物プランクトンや微生物となります。

実験で得られた薬の効能と副反応等の知識は、霊界通信力で、受信可能な全人霊界で共有しますので、必要最小限の実験で済ませています。

また、平均的な人霊界以上の世界では、霊界と輪廻転生は常識ですから、善行を実践している者たちには、死に対する恐怖心はありません。仮に^{おさな}幼くして病気で亡くなった場合は、地上での長時間の修業^{めんじよ}が免除されて、霊界（天国）へ、ミサイル or 飛行機 or 新幹線で戻るだけと考えております。

次に、惑星霊界ですが、さらに病気になったり怪我をしたりする人は少なくなります。しかしゼロではないため、医療は存在します。

ですが、地上人類が行っている治療法とは基本的に別もので、^{れい い}霊医（^{れい}霊界の医者）により、ヒーリングで^{せい}霊力（≡^{せい}霊体の活動エネルギー）を、手足や内臓の機能を統率している^{せい}霊体の部位に注入する治療法が主に用いられます。つまり、^{れい}霊界の医者が地上の患者をヒーリング（^{せい}霊力）で治療するのです。ただし、^{こっせつ}骨折等の怪我に対しては、^{せい}整復や外科手術が行われます。

しかし、善行や懺悔が地上人類よりも 1000 億倍実践される世界ですから、これらヒーリングや外科手術を必要とする人は極少数です。

次に恒星^{せい}霊界ですが、「第 6 巻」で、

*

ウイルスや^{がん}癌細胞や病原菌に対しては「愛を受け取った^{せい}霊体は^{せい}霊格が向上する」と言う真理を応用して、彼らに愛を注ぐことによって自分たちの^{からだ}身体を守る生命体へ転換できる事例が集められ、具体的にどのように愛を注げば効果的なのか、いろいろ試され、やがて「一人ひとりの善想念を高めて、全員の善想念で宇宙空間を満たすことが効果的で、かつ費用も掛からず、平和で調和と秩序のとれた世界が、同時に建設されること」が理解されています。

*

と、述べたとおり、恒星^{せい}霊界は、^{せい}霊格・^{せい}霊力の向上によって治癒力を高める方法が選択されています。このため、子どもころから善行の実践をスタートさせています。

また、地球を含めて全惑星で、子どもころから、健康を意識して、規則正しい生活と適度な運動と休息を心掛けています。

最後に、補足事項ですが、地上が^{いっそくと}一足跳びに^{せい}人霊界の高級界や惑星^{せい}霊界や恒星^{せい}霊界に到達することは困難ですから、薬や手術は必要不可欠で、これらの安全性を確認する動物実験も欠かせない状況がしばらく続きます。ですから、全人類が、薬や手術（≡動物実験）の恩恵を

受けている状況下では、「人命を救うため」と言う目的意識を持ち、かつ、動物たちに与える苦痛をできるだけ抑えるよう配慮した（動物）実験者に関しては、罪に問われることは、霊界でもありません。

ただ、動物たちに苦痛を与えていることは事実ですので、Q7 (A7)の箇所、「戦争による罪の報いを 1000 億の 2 乗数の全銀河霊で償^{つぐな}っている」と解説したように、動物たちが受けた苦痛を、1000 億の 2 乗数の全銀河霊で、同等の苦痛（や懺悔）や善行によって償^{つぐな}っていることも事実（実相の姿）です。

ですが、やがて、人類の多くの方々が真理と摂理の働きに目覚め、銀河霊にまで霊格が向上すると、「(戦争や) 領土問題で争う人」がほとんどいなくなるのと同様に、ほとんどの人が銀河霊体を身につけ、病気になることも怪我をしたり怪我をさせたりすることもなくなると、「動物実験は行う人」は、かなり少なくなります。

最後に、お節介な補足説明ですが、地上の皆様が病気になったり怪我をしたりしているのは、「第 6 巻」で述べているように、

*

他の銀河霊（＝真理と摂理の働きに関する知識の乏しい、原始時代から現代まで、地上で、戦争による殺人・略奪^{りやくだつ}・強姦^{ごうかん}・破壊と、詐欺^{さぎ}やいじめなどの罪を犯した類魂）の代わりに苦難を味わっているから。

*

です。

だから、皆様が健康な身体^{からだ}を取り戻したいのなら、皆様の徳分（＝霊力）を著^{いちじる}しく低下させる主原因となっている、戦争による殺し合いを止めることが最も効果的なのです。

それと「第 6 巻」で説明しましたが、銀河霊体は、真理的行為を 10 年 20 年 30 年、健気^{けなげ}に実践してやっと身につくものですから、そ

れまでは、医療に頼るのは仕方しかたのないことだと思えます。いや、むしろ積極的かつ謙虚に、最新医療を活用し、健康診断などで早期発見・早期治療によって健康を維持すべきです。私もそうしています。

回答は以上です。